



# 学びの庭

甲府市立甲運小学校  
学校だより第9号  
平成29年11月27日  
(文責：勝村 正樹)

## 盛大に「開府500年甲運地区記念行事」開催 本校6年児童，堂々としたスピーチを披露

11月24日に甲運小学校体育館において、甲府市長をお招きし、甲運地区文化協会主催の「開府500年記念行事」が開かれ、100人以上の方が集まりました。



甲府市教育委員会前教育部長の数野雅彦様が、「開府500年の歴史と文化」と題して、昔要衝の地であった甲運地区について、分かりやすく説明してくださいました。

そして、4名の6年生が、甲運小学校や地域のよさについてスピーチを披露し、学校の間取りや地域の様子について上手に発表していました。(4人のスピーチ内容は以下に紹介

します)

スピーチに続いて、穴切神社雅楽クラブとすいれき太鼓部の方々が演奏をしてくださり、まさに和の競演となりました。



開府500年祭に向け、大いに盛り上がる行事となりました。甲運地区文化協会の方々、夜遅くまでご参加いただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。



### 【6年生のスピーチ原稿から（発表順）】

**6年大浦純熙**です。ぼくは、甲運地区の歴史について話をしたいと思います。

現在、甲運地区を国道140号、国道130号、国道20号が走っています。

ぼくが住んでいる川田町から石和にかけては、昔から様々な道が交差するため、とても便利だったそうです。

川田町は、甲府の中では東のはずれにありますが、川田町には信玄公の父、信虎の住んでいた川田館があります。このことについて1学期に甲府市の方からお話を聞き、実際に館跡を見学する時間がありました。一般的に館の周りには水路があることが多く、館跡の周りにも水路がたくさんあったので、本当に川田館があったことが分かりました。

ぼくは、友達の家で近くで、土器のかけらやかわらのかけらを探しました。その場所の近くは、昔から土器やかわらを作っていた所らしく、今でも土器やかわらのかけらがあるかもしれないと言われているからです。そこで作られた土器やかわらは、道路や水路を使ってあちこちに運ばれました。信虎は交通の要所である川田に館を造ることで甲斐の国が栄えるだろうと考えたのだと思います。

その後信虎は、躑躅ヶ崎に引っ越ししてしまいましたが、道路と水路が整備されている川田は、とても重要な土地であったと考えられます。



ぼくは、甲運地区の歴史を調べて感じたことがあります。

調べてみると、土器のかけらがみつかったり武田家の館があったり、数多くの歴史があることが分かったので、今度友達に会った時は、甲運地区の歴史を自慢したいと思います。

### 6年丸山よしかです。

私たちの甲運小学校は、自慢の小学校です。今日は、甲運小のいい所を紹介します。

1つ目は、たてわり活動です。6年生を中心に全学年で楽しみながら協力して行っています。また、ワイワイフェスティバルという行事があります。テーマは「エコ」です。このテーマを意識しながら道具を作り、準備を進めています。「地域の人との交流」も心がけています。保護者、地域の方にお店を楽しんでいただいています。ワイワイフェスティバルは、「エコ」「地域の人との交流」という大事なことを学びながら楽しむことができる行事です。

2つ目は、全校児童で心がけている清掃です。特に無言清掃には、集中して学校をきれいにするための1歩として心がけているため、甲運小は以前に比べ、とてもきれいになりました。また、今の時期になると、たてわりで分かれて毎日落ち葉拾いを行っています。

3つ目は、生活目標です。特に年間の生活目標「5分前行動」では、全校で心がけることによって、落ち着いて授業を受けることができるようになってきました。私たちの学校では、チャイムがなりません。これからも時計を見て行動するようにしていきたいと思います。

4つ目は、「あいさつ運動」です。あいさつ運動は、児童会を中心に行っていて、笑顔あふれる甲運小学校を目指して朝、たてわり班ごとに行っています。今年は特に力を入れていて、当番ではない人も日に日に自主的にあいさつ運動に参加するようになってき



ました。地域の方に大きな声であいさつできる甲運小学校を目指します。

甲運小学校の児童は、「元気」で「明るく」「仲が良い」です。そんな児童がたくさんいる甲運小が私たちの自慢です。

### 6年吉澤柊人です。

ぼくは、この甲運の地域と環境の良さについて4つ話します。

1つ目は、ぶどうづくりの事です。山梨県は、ぶどうづくりが有名です。甲運地区は甲府市の中では、ぶどう畑がたくさんある地域です。甲運小学校では、ぶどう畑の手伝いを総合的な学習として取り入れています。山梨名産のぶどうをどのように作っているのか、地元で学習できることはとてもすごいことだと思います。けれど、畑をやっている人は、お年寄りの方が多いのです。そのため、ずっと立っている畑仕事はつらいと思います。ぼくたちが少しでもお手伝いできると楽になると思いました。

2つ目の良さは、スクールゾーンについてです。そもそもスクールゾーンとは、幼稚園や小学校に通う子どもを交通事故から守るため、自動車の通行を制限した道路の事です。

つい最近、学校の近くがスクールゾーンになりました。これにより、ぼくたちは守られていると感じ、地域の方々のやさしさを感じました。

3つ目は、児童の増加です。子どもの少ないこの社会で、甲運小の児童が少しでも増加しているということは、たいへんすばらしいことだと思います。

4つ目は、児童館についてです。甲運小では、児童館を「ぶどっこ」と呼んでいます。ぶどっこは、放課後、親が家にいない間、待つための場所です。親がいなくて家に子どもだけになってしまうと危険なため、親の帰りを安全に待つことができます。

良いことはまだまだたくさんあります。このようなことが続けば、甲府の町はもっと良くなるはずで、この甲府の町がもっと良くなって、5百年、いやもっと千年目も迎えられるよう、ぼくたちもがんばっていきます。



### 6年馬場結愛です。

私が思う甲運小の1番いい所は、みんな温かく、みんな同じ思いで1つのことを目指してがんばっていけるということだと思います。私は、大切な小学校での6年間を甲運小で過ごせたことを、とてもうれしく思っています。この先何年たっても、きっと甲運小のことを忘れることはできません。

私が今、こうしてお兄さんやお姉さんから受けついできたのは、私自身がお兄さんお姉さんの姿を見て、「私もやりたい」と思ったからです。

これからの甲運小のみんなに受けついしてほしいのは、1つ1つの行事に全力で取り組み、私達がつくってきた甲運小学校の上に、どんどん新しい甲運小を積み上げていってほしいということです。私達が甲運小にいる時間も少なくなってきましたが、私達が今できる精一杯のことをし、次の学年にしっかりとバトンを渡したいと思えます。

来年や再来年は、甲運小学校がどんなふうに変化しているのか、とても楽しみです。



## 本校卒業の廣瀬武久様から寄付届く 金属工芸品と図書43セット

本校卒業の廣瀬武久様から金属工芸品「鳩」（60万円相当）と図書43セット（50万円分）をご寄付いただきました。



「鳩」の作品は、鍛金という技法で作られています。鍛金とは、銅や真鍮などの薄い金属の板から、金槌で叩くことによって形を作る技法です。米国で活躍中の彦坂良様の作品

【右から2人目が廣瀬様】です。甲運小正面玄関を入ってすぐのところに飾ってありますので、ぜひご覧になってください。

また、いただいた図書は、廣瀬様のご意向で、お父様の名前から『廣瀬武文庫』としました。図書室に揃えてありますので、一度手にとって見てください。



## 図書ボランティアの方々ありがとうございます

図書ボランティアとして16名の方々にご協力をいただいています。教室での読み聞かせでは子どもたちも大喜びです。また、ボランティアの方に作っていただいた図書室前の季節の掲示は、子どもたちの注目を集めています。

ボランティアのスタッフは次のみなさんです。

主任児童委員：小田切初美様・若林敏美様、元学校図書館司書：土屋恵様、保護者：渡辺小百合様、石井映子様、松下佑香様、大橋清香様、田中清美様、埴原聖子様、岡垣子様、三枝優子様、窪田美和様、勝俣睦子様、松木里絵様、榎並晶子様、大浦久美子様（\*保護者の方のお名前は学年順です）

